

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：1/6～1/10

・1/6(月)

アメリカとイラン、IR 疑惑、三宅雪子元議員が死亡、安倍総理の年頭記者会見などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、IR 疑惑については放送法上問題と考えられる場面が見られました。また、アメリカとイラン、IR 疑惑、三宅雪子元議員が死亡、安倍総理の年頭記者会見については検証者の所感を記しました。

・1/7(火)

IR 疑惑、桜を見る会、アメリカとイラン、自衛隊中東派遣について、立憲民主党と国民民主党の党首会談などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。また、IR 疑惑およびアメリカとイランについては検証者の所感を記しました。

・1/8(水)

アメリカとイラン、日本維新の会が下地議員を除名、日米貿易協定などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られなかった。また、番組構成については検証者の所感を記しました。

・1/9(木)

アメリカとイラン、桜を見る会、悠仁さまの机に包丁が置かれた事件の初公判などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、桜を見る会については放送法上問題と考えられる場面や印象操作と疑われる要素が見られました。また、桜を見る会については検証者の所感を記しました。

・1/10(金)

旅客機墜落イランが撃墜か、自衛隊派遣などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。また、ゲストコメンテーターについては検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月6日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：アメリカとイラン、IR 疑惑、三宅雪子元議員が死亡、安倍総理の年頭記者会見		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴーン被告の逃亡劇 ・ アメリカとイラン ・ IR 疑惑 ・ 三宅雪子元議員が死亡 ・ 安倍総理の年頭記者会見 ・ 日本郵政新社長に増田寛也氏が就任 ・ スポーツ報道 ・ 【異論反論】 #正月太りの解消法 ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカとイラン：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「続いてのニュースに参ります、こちら今年最初の取引となりました東京株式市場の日経平均株価ですが、一時500円以上も値を下げるといふ波乱の幕開けとなりました。」というコメントおよび山本キャスターの「その要因となったのがアメリカ軍によるイランの国民的英雄の殺害、両国は互いに報復を予告し合うなど軍事的緊張が高まっています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「テヘラン中心部を埋め尽くした数10万人の群衆、その中をゆっくりと棺が運ばれていきます。市民が追悼しているのはイラン革命防衛隊のソレイマニ司令官です。イランの最高指導者ハメネイ師も棺の前で涙を流しながら祈りを捧げました。ソレイマニ司令官は3日、イラクの首都バグダッドにいたところをアメリカ軍のドローン攻撃によって殺害されました。イラクではアメリカ軍などの関連施設が度々シーア派民兵に攻撃されてきましたが、こうした民兵を支援してきたのがソレイマニ氏、アメリカから見ればテロの首謀者ですが、イランではカリスマ的人気がありました。今回アメリカは米国の外交官や軍関係者への攻撃計画があったと主張しています。」</p> <p>イラン群衆「アメリカに死を！アメリカに死を！」</p> <p>葬儀に参加した男性A「アメリカに厳しい報復をすべき。」</p> <p>葬儀に参加した女性B「中東地域から追い出さないと。」</p> <p>ナレ「その突然の死に国民からも米に対する報復をもとめる声が上がっています。イラン側の激しい反発が予想されながらもなぜアメリカはイランの英雄の殺害に踏み切ったのでしょうか。専門家からも驚きの声が上がっています。」</p> <p>高橋和夫（中東情勢に詳しい、放送大学名誉教授）「今回私は間違えてね、ソレイマニではないと思って爆撃し</p>		

たらソレイマニが死んだのかなと思ってたんですね、最初は、ところがアメリカ側はわざとやったんだと発表しましたから、ええやっちゃったの、というような、ちょっとびっくりしたなという感覚がちょっと強いですね、これまで例えばビン・ラーディンとかバグダディの殺害とかありましたけれども、その人達はある意味テロ組織の指導者ですよ、でもソレイマニはイランというれっきとした国家の幹部ですからね、そういうテロ組織の指導者を殺すというのとは全く次元の違うことだと思いますね。」

前嶋和弘（上智大学教授、アメリカ政治専門）「ブッシュ政権のときもオバマ政権のときも彼を攻撃するチャンスはあったんですが意図的に見逃してきたと言われて、イランからの反発があって、報復があるからと見られていたがオバマさんとは違うということ、トランプさんはいいかかったのだと思いますね。」

"ハメネイ師「彼の血を流した犯罪者たちには厳しい報復が待っている。」

ナレ「アメリカに対して厳しい報復を予告するイランこれに対してトランプ大統領は」

トランプ大統領（報復）「イランが攻撃すればイランにとって非常に重要な 52 の施設の標的を速やかに激しく攻撃する。」

ナレ「52 の標的を攻撃すると警告したトランプ大統領、実はこの 52 という数字こそが両国に横たわる長年の因縁を示しているのです。およそ 40 年前、イランにあるアメリカ大使館を学生らが一年以上に渡って占拠した事件。このとき人質とされたアメリカ人の数が 52 人だったのです、遺構長年に渡り対立が続くアメリカとイラン、互いに報復を予告する中、イラン政府は 5 日、新たな対抗措置を発表しました。」

イラン政府「もはや核合意によって決められたいかなる制限にも縛られない。」 "

ナレ「アメリカやヨーロッパ各国と結んだ核合意を破り保有するウランを無制限に濃縮することも辞さないと言ったのです。ウランの濃縮が進めばいずれは核爆弾の原料になることも考えられます、極度に緊迫する中東情勢、その先には何が待ち受けているのか。」

"高橋和夫「オプションとしてはイラン側はかなり持っていて、一つは中東にあるアメリカ軍基地に対する攻撃、それから中東にいるアメリカ市民に対するテロまたは誘拐、ですね、それからアメリカのある意味同盟者であるイスラエルに対する攻撃、イランというのはかなりサイバー能力の高い国ですからそのサイバー面での攻撃というのも考えられます。」

前嶋和弘「戦争というのは本当に些細なことからエスカレートするものですので、最悪の事態も今後あるかもしれません。ただ一方で、トランプさんは強いアメリカを PR したくて今回、スレイマニさんを殺害しましたが一方で中東からは引いていきたいというのがこれまでのトランプさんの主張であります。ですので大きなベクトルとしては戦争はしたくない、という方向だと思いますね。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「専門家の皆さんからも疑問の声がある相当極端な一手にトランプ大統領打って出たということになりますけれども、更に疑問なのがこれ、国際社会のルールに照らし合わせたときに妥当な行為だったのか、国内の手続きはちゃんと踏まれたのでしょうか。」

星浩「まずはっきりしているのはソレイマニ司令官というのは国を背負った司令官ですので、その同時多発テロを指揮したビンラディンとは違うんですね、ですからソレイマニ司令官を殺害したとなれば国際社会はアメリカが戦争を仕掛けたのではないかと受け止めることはこれ当然といえば当然ですよ、で、トランプさんはアメリカ人が危ないからやったんだというんですけれども、証拠は全く示されていない。というのがありますよね。」

それからアメリカの国内でもね手続きは取られていないということで、国際社会これ通用するかどうか、武力行使の根拠が非常に曖昧なところがありますよね。これがですねさきほど VTR にもありますように突発的な衝突に繋がる可能性がありますので、おそらくアメリカもイランも非常にびっくりしているし、警戒している、神経質になっていると思いますね。」

小川彩佳「そうなってきますと非常に気がかりなのが日本は 12 月 27 日に自衛隊の艦船を中東に派遣するという閣議決定を行っているわけですね。」

星浩「安倍総理は今日も日本ならではの外構をするんだと言うですけども 12 月 27 日の段階ではまだその仲介の余地はあったんでしょうが、こういう状況になってくともう仲介の余地がなくなってくるので、その前提条件が変わってきていますからね、派遣の決定というのを見直す、考え直すべきだと思いますね。」 "

また番組のクロージングで小川キャスターの「しかし今年は波乱の幕開けを感じさせるようなニュースが次々起きますよね。」というコメントに星キャスターが「特にこのアメリカとイランとの対立ですけどもね、本当はこういうときのために国連っていうのがあって、国連というのは紛争解決の話し合いをするんですけども、どうやらトランプさんにはあんまりそういう気がないようなので、非常に残念なところなんですけど、安倍総理がそのへんを本当はトランプさんにアドバイスするのが本当の同盟国だと思いますけれどね。」と応える一幕があった。

このトピックに当てられた時間は 496 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ IR 疑惑：結論→特に問題なし

小川キャスターの「疑惑はどこまで広がっていくのでしょうか、カジノをめぐる統合型リゾート事業をめぐるまして現職の国会議員が逮捕された事件ですが、新たにですね日本維新の会が中国側の企業から現金 100 万円を受け取っていたと認めました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「今日午後、緊急の記者会見を開いた日本維新の会の下地幹郎議員。」

下地幹郎（日本維新の会衆院議員）「事務所職員が紺野昌彦氏から選挙資金として 100 万円の現金が入った封筒を受け取った事実が判明しました。」

ナレ「現金 100 万円を渡したとされる紺野昌彦容疑者は日本でカジノ参入を計画していた中国の企業ファイブハンドレッドドットコム（Five Hundred Dot Com）の元顧問で先月末、東京地検特捜部に贈賄の疑いで逮捕されています。」

記者「ご認識はあったのですか。」

下地幹郎「職員は私に報告したと申しあげているんです、しかし、どうも思い出せないんですよね。私そのものが、お金に色がないから、いま、もう 2 年半立っているんで、使われているのではないかと思いますね。」

ナレ「IR、統合型リゾート事業をめぐる汚職事件は年末に自体が大きく動きました。」

音声「衆議院が解散した時に秋元容疑者に現金 300 万円を渡した。」

ナレ「現職の衆議院議員秋元司容疑者が日本でのカジノ参入を目指す中国企業側から現金 300 万円の賄賂を受け取ったとして収賄の疑いで逮捕されたのです。賄賂を送ったとされる中国企業側の三人も贈賄の疑いで逮捕されています。」 "

"ナレ「秋元容疑者は逮捕前日、JNN の取材に疑惑を完全否定。」

秋本司「金をもらっていないのは事実だしよ、なおかつその便宜っていうのを働いてないっていうのは事実なん

だよ、これは便宜供与働く場面もないし、なんでこんな事件性もないことにこんなに走るんだよ、だいたい地検はなんなんだよ、狙ってるのは、それがわからないんだよ。」 "

"ナレ「IR 事業は安倍政権の看板事業で秋元容疑者はそのきーまんでした、当時、IR 担当の副大臣も努めていてその旗振り役だったのです。内閣委員会の委員長として IR 法案の採決を強行したことも。」

秋元司（内閣府委員長、2016 年 12 月）「こういった形での採決となりましたけれども、これについてはまあ致し方のないことなのかなも、塗装思っています。」

ナレ「秋元容疑者の逮捕後、特捜部は関係先の一つとして白須賀議員の事務所や。」

記者「東京地検の車がパチンコメーカーに入ります。」

ナレ「大手パチンコメーカーに自宅捜索に入りました。疑惑は更に広がる様相も。逮捕された中国企業側の元顧問らがこう供述したのです。」

元顧問「5 人の国会議員にも 100 万円前後を配った。」

ナレ「名前が上がったのが岩屋前防衛大臣や宮崎政久議員ら。いずれも IR を推進する議員連盟のメンバーです。このうち下地議員以外の 4 人は現金の受け取りを否定しています。」

岩屋（前防衛相）「私は天地神明に誓って一切不正に関わっておりません。」

中村裕之（自民党衆院議員）「現金もようかんも一切頂いておりません。」

ナレ「そして、今日、残る日本維新の会の下地議員が急遽会見をし、現金 100 万円を受け取っていたことを認めたのです。」

記者「何らかの便宜であったりとか依頼を受けたということは。」

下地幹郎「正直言ってないんですよ。私がこういう便宜を図るとかそういうことは一切ない、またやれるような立場でもないと思っています。」

ナレ「中国企業側に便宜を図ったことはないとする下地議員。一方、維新の松井代表は。」 "

"松井一郎（大阪維新の会代表）「現金を受けてね、結局それを収支報告書に載せないということはこれはお小遣いにしたということなので、これは政治資金規正法違反なんで、もう、法に違反していますよ。間違ったお金をもらったらもうその、法に抵触することをすれば議員辞職をするべきです。」

ナレ「特捜部は既に下地議員ら 5 人を任意で事情聴取していて政治資金規正法に抵触していないかどうか、慎重に調べています。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「逮捕された秋本議員の他にも五人の議員に現金が渡っていた、と疑惑がどんどん広がっていきますね。」

星浩「そうですね、どんどん広がっていきますね、そもそもこの IR 問題というのは安倍政権のその成長戦略の目玉と安倍総理が言ってスタートしたわけですね、関連法も整備されたということですので、この IR 整備の推進がなければ、この事態起きていないわけですからこれは安倍政権も自民党もこの疑問に答える責任があると思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 386 秒だった。スタジオでは星キャスターが「この IR 問題というのは安倍政権のその成長戦略の目玉と安倍総理が言ってスタートしたわけですね、関連法も整備されたということですので、この IR 整備の推進がなければ、この事態起きていないわけですからこれは安倍政権も自民党もこの疑問に

答える責任があると思いますね。」とコメントしていたが、そもそも、日本では（1）賭博（カジノ）が刑法上禁止されていること、それにも関わらず（2）公営ギャンブルという存在が認められていること、更に加えて（3）パチンコの三店方式というお目溢しのような運用がまかり通っている、という現状がある。この IR を巡る議論でギャンブル中毒という懸念が取り上げられていたが、日本における中毒者としてパチンコ中毒の例が上げられていたのは刑法の運用上はともかくその本質や経済的な実態においてパチンコはギャンブルと全く変わるところがない、ということは何よりも雄弁に物語っていた。

こうした現状に対して IR 整備というのはカジノを全面解禁をするのではなく、一部地域に限定して解禁するという原則禁止というスタンスを変えるものではない。カジノをすべての地域で解禁するような徹底した推進であればこうした問題は起きなかった、と考えると確かに、今回のように一部地域に限定した不徹底な推進であれば、その枠を求めての不祥事が起こりやすい、というのは言えるだろう。そういう意味では安倍政権や自民党が全く責任がないというわけではないが、他方で、IR を推進しないとしても事業者はパチンコのようなお目溢しのされるものに自分たちの事業をねじ込もうという動きをするインセンティブは働くだろうから、IR 推進がなければこうした事態は起こらなかった、などということは言えないだろう。

そのように考えるとスタジオでのコメントは IR 推進反対で現状の娯楽業界の既成及び既得権を保護する側に立った偏ったコメントであり報道構成であったと言える。

この点を踏まえると放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」および同四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らして問題のある報じ方と言える。

・三宅雪子元議員が死亡：結論→特に問題なし

ナレーションによって「今月 2 日、東京都内の海岸近くで三宅雪子元衆院議員の遺体が見つかったことがわかりました。捜査関係者によりますと遺書のようなものが入ったバッグが見つかったということで入水自殺を図った可能性が高いと見られています。三宅元議員は 2009 年小沢一郎氏が代表代行を務めていた当時の民主党から立候補し初当選、小沢チルドレンと呼ばれました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 45 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・安倍総理の年頭記者会見：結論→特に問題なし

山本キャスターの「安倍総理が年頭の記者会見を行い、桜を見る会をめぐる国民からの批判は十分承知していると述べました。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"記者「各種世論調査で桜を見る会について総理の説明が十分ではない、と答える人が 7 割を超えています。こうした意見をどう考えますか。」

安倍総理「国民の皆様から様々なご批判があることは十分に承知をしています。世論調査の結果についても謙虚に受け止め今後も丁寧に対応してまいりたいと思います。」

ナレ「会見で安倍総理はこのように述べましたが桜を見る会にマルチ商法で破綻したジャパンライフの元会長を招待したのかについては去年と同様に回答を避けました。一方、憲法改正については私の手で成し遂げていくという考えにゆらぎはない、と強調しました。」"

このトピックに当てられた時間は 57 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・アメリカとイラン

スタジオで星キャスターは「特にこのアメリカとイランとの対立ですけれどもね、本当はこういうときのために国連っていうのがあって、国連というのは紛争解決の話し合いをするんですけれども、どうやらトランプさんにはあんまりそういう気がないようなので、非常に残念なところなんです、安倍総理がそのへんを本当はトランプさんにアドバイスするのが本当の同盟国だと思いますけれどもね。」とコメントしていたが、冷戦期そして今に至るまで、国連、特に安保理は常任理事国の拒否権行使によって機能不全に陥るという事態が度々見られてきた。また、ロシアや中国は常任理事国ではあるが、リベラルデモクラシーや法の支配という先進国共通の価値観を共有しているか非常に怪しい。またイランについてもリベラルデモクラシーや法の支配という価値を持っているかという点は甚だ心もとない。このように異なる価値観の国同士の対立や紛争解決において国連、特に安保理という場に過度な期待ができないということは歴史の証明してきたことであって、トランプ大統領に限らずアメリカが国連に持ち込む気がない、ということにも一定の合理性はあるといえる。

そうした中で「安倍総理がそのへんを本当はトランプさんにアドバイスするのが本当の同盟国だと思いますけれどもね」と国連に持ち込むことを勧めるというのは、いささか国連に対して過度な幻想を持ち過ぎているのではないだろうか。

・IR 疑惑

スタジオで星キャスターは「そもそもこの IR 問題というのは安倍政権のその成長戦略の目玉と安倍総理が言っていてスタートしたわけですね、関連法も整備されたということですので、この IR 整備の推進がなければ、この事態起きていないわけですからこれは安倍政権も自民党もこの疑問に答える責任があると思いますね。」と述べていた。確かに、IR 整備の推進がなければ、今回のような事態は起きていなかったというのは言えるのかもしれない。しかし、今の IR 整備の推進というのは特定の地域に限定して IR を解禁するというものであるから、その IR 解禁の枠を巡って便宜を図ってもらおうとする自治体や事業者が出てくるというのは容易に想像がつくことであっただろう。

安倍政権や自民党が応えるべきは秋元議員や下地議員の個々の疑惑に対してではなく、そうした疑惑の温床となるような制度設計にってしまったことについてではないだろうか。

そもそも規制が存在したり、その規制を前提に緩和する理由を求めよう議論をしようとしたりするから、既成の枠内で権益にありついたり規制緩和の対象に自分たちを入れてもらおうと立法や行政に働きかけるという動きが生じるのであって、そもそも規制がなかったり、規制緩和のやり方も緩和側ではなく規制側に説明責任をもたせるような議論がなされているのであれば、こうした疑惑というのは起こりにくくなるのではないだろう

か。

- ・ 三宅雪子元議員が死亡

まさか、このような形で三宅雪子という名前を耳にするとは思ってもいなかったので、驚きを隠せない。ご冥福をお祈りします。

- ・ 安倍総理の年頭記者会見

総理大臣の年頭記者会見ということで、総理からは様々なテーマについてのお話があったのだろうと推察するが、今回ニュースで取り上げられていたのは、NEWS23 として注力しているテーマである桜を見る会と安倍総理のライフワークである憲法改正だった。他にはどのようなことが話されたのか、非常に気になるところである。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月7日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：IR 疑惑、桜を見る会、アメリカとイラン、自衛隊中東派遣について 立憲民主党と国民民主党の党首会談		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴーン被告の逃亡 ・ IR 疑惑 ・ 経済界の新年祝賀パーティ ・ 相模原殺傷事件が明日初公判 ・ 桜を見る会 ・ アメリカとイラン ・ 自衛隊中東派遣について ・ 生徒に犬の首輪をつけたとして学習塾の男を逮捕 ・ 立憲民主党と国民民主党の党首会談 ・ スポーツ報道 ・ 天気予報 ・ 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・ IR 疑惑：結論→特に問題なし 小川キャスターの「続いてのニュースに参ります。カジノをめぐる汚職事件の捜査が進んでいますが、政府は今日、カジノを含むリゾート施設 IR の設置に向けてカジノ管理委員会を立ち上げました。ただ、誘致を検討してきた自治体では異変も起きているようです。」というコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。 <p style="color: red;">"ナレ「今夜取材に応じたのは日本維新の会の下地衆議院議員。」</p> 下地幹郎（日本維新の会衆議院議員）「まずは離党をして、それから辞職の問題には決着をつけていこうかな、と。」 <p style="color: red;">ナレ「カジノをめぐる汚職事件で贈賄の疑いが持たれている中国企業側から現金 100 万円を受け取った問題で離党届を提出したことを明らかにしました。広がり続けるカジノ汚職の波紋。」 "</p> "村瀬健介（報告）「こちらではカジノのディーラーを目指すみなさんが授業を受けているんですけども、今丁度客の掛け金を交換する練習をしているところです。」 <p style="color: red;">ナレ「今日、私たちが尋ねたのはカジノでのゲームの進行や掛け金のやり取りを管理するディーラーの養成学校です、これまで日本では刑法の賭博罪にあたり、違法とされてきたカジノ、しかし今、そのカジノのディーラーを目指す人が増えているといいます。」</p> ディーラー志望 A「日本中にそういう IR の施設が出来たら、もっと必要になるから雇用が生まれるということはすごくいいことだと思うので、」 "		

"ナレ「2016年、事実上カジノを解禁するIR推進法が成立、会議場や宿泊施設などを含む統合型リゾート施設IRの中に限り、カジノを認めることになったのです、ただ、そのIRを設置できるのは国内3箇所に限られ、誘致する自治体や参入を希望する業者にとっても狭き門、カジノはどこに作られるのか、誘致をめぐる全国の8つの自治体が検討をはじめました。候補地の一つ、北海道への誘致を巡っては。」

秋本司容疑者「金をもらっていないのは事実だしよ、なおかつその便宜供与を働いていないのも事実なんだよ。これは。便宜供与を働く場面もない足。」

ナレ「昨年末東京地検特捜部に逮捕された秋元司容疑者。自民党衆院議員として内閣委員会の委員長を務めカジノを解禁するIR法案の採決を強行し、更にその後IRを担当する内閣府の副大臣を務めていました。秋元容疑者は北海道などでのカジノ参入を目指していた中国企業側から現金300万円の賄賂を受け取るなどした疑いが持たれ、特捜部は中国企業側に便宜を図ったかどうか調べています。秋元容疑者が逮捕される一ヶ月前には」"

"鈴木直道（北海道知事）「今回の区域認定申請は見送ることといたしますが、」

ナレ「北海道が誘致を見送ることを決定。そして今日。」

熊谷俊人（千葉市長）「IRの誘致は行わないという結論に至りました。」

ナレ「千葉市もIR誘致の申請を見送る方針を決定、ただ汚職事件の影響ではないと強調し、台風被害などを理由に上げています」"

"横浜市民「カジノは反対」

ナレ「カジノをめぐる推進派の林市長と、反対派の対立が続いているのが有力候補地の一つ、横浜、昨日、市の賀詞交歓会で林市長と同席した反対派の急先鋒、浜のドンこと港運協会の藤木会長は。」

藤木幸夫（横浜港運協会会長）「ダメなものはダメなんだよ。これは。人間としてダメなものなの、決まってるの。」

ナレ「一方の林市長はカジノについては具体的に言及しませんでした。自治体ではカジノ誘致の機運に陰りが見える中。政府は。」

菅義偉（内閣官房長官）「できるだけ、早期に、IRの整備によるこの効果を実現できるようしっかり準備をしていきたい。」

ナレ「予定通りカジノの設置を含むIRの設置を進める方針を強調、今日新たにカジノの事業者への免許の交付などを行うカジノ管理委員会を設置しました。こうした政府の姿勢に野党は。」"

"大串博志（国民民主党幹事長代理）「まさにカジノ疑獄と言わざるを得ないような状況が呈してきております。」

ナレ「安倍政権の目玉政策の一つ、カジノを含むIR整備に向けたプロセスを凍結すべきだとして世間との対決姿勢を強めています。」"

VTRを受けて、スタジオで"小川キャスターが「カジノ解禁を推し進めてきた国会議員の逮捕でまたぐっと注目が集まってきている、カジノを含むリゾート施設の問題ですけれども、こうした施設を作ることに皆さんはどう思われますか。」とコメントし、山本キャスターが「今日はニュース23の定番コーナー異論反論オブジェクションの形で街の皆さんにお話を伺いました。あなたは日本にカジノを作ることに賛成ですか、それとも反対ですか、異論反論。」と応えるというやり取りを挟んで、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"50代男性「必要だと思います、海外で皆さん楽しんでいらっしゃるの、まあ日本にもそういった場所があつていいのかな、って思います。」

男子大学生「楽しいだろうし、新しいものとしてなんかあっても別に外はないんじゃないかなと思いますけれどもね、観光客とかも来ると思うですし。」

男子大学生「パチンコ店とかたくさんあるんで、なんかカジノが出来てもそんなに変わらないんじゃないかな、正直。」

60代男性「日本にカジノは必要ないですよ、必要ない、どこにも必要ないと思います。カジノ抜きで統合型リゾートは可能だという、もうカジノなしにはIRができないようなそんなような建付になっているそこはやっぱりおかしいと思いますよ。」

70代女性「外国人のためにカジノを作る必要はないと思います、日本の伝統や文化を見てもらえればいいと思います。」

フィリピン在住 20代女性「反対です。」

フィリピン人 20代男性「僕は賛成です。フィリピンでもよくカジノ行ったりするんですけども、遊ぶくらいならいいかなと思って。」

フィリピン在住 20代女性「フィリピンに今、カジノがたくさんあるんですけどもどれだけカジノにすごい念入りしちゃってる人が多いのわかってるので、なんか日本人の費と、どんくらい集中しちゃうのかなと。」

30代女性「無理してやらなくてもいいんじゃないかな、なんか汚職があったからこそもうちょっと精査しているんなことを精査し直してやるんだったらまだしも、結構ゴリ押ししてるのかなと。」 "

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「かなりウェルカムな意見も多い中ではありましたが、ゴリ押しという意見もありました。このIR法案、東京地検に逮捕された秋元容疑者が委員長を務める内閣委員会で採決されたのが2016年の12月なんですね、思い出していただければと思うのですが、こちらはちょうどその月のJNNの世論調査で、カジノを解禁するIR法案に賛成か反対かを問うたものなんですが、賛成という方は24%にとどまりまして、反対は55%と大幅に上回っていた、こうした中での採決の強硬だったわけですね。」

星浩「まあいくつか理由がありますけれども反対が多い中で進めてきたのは成長戦略の目玉にしようという安倍政権の目玉ですよ、もう一つは政治的にはカジノを推進しているのが大阪の維新の人たちが多いものですから維新を取り込むため、憲法改正のための協力を考えていたということもあると思いますね、ですがここまで疑惑が広がってくるとカジノっていうのはもしかして利権狙いだったんじゃないかっていう疑念が生じますよね、ですからそれをどういうふうに答えるかですけども、今回のその委員会でも透明な制度を本当にできるかどうか非常に疑問が残りますよね。」

小川彩佳「利権狙いだったのではないかと。また細かいことは国会審議を通さずあとから決めていきますよということをするところ先を急ぐような採決だったということも思い出されるんですけども、こうして疑惑が広がっているなかでこのまま推し進めていくっていうことになれるのでしょうか。」

星浩「そうですね、全国的には北海道、千葉市がギブアップしましてね、今度横浜が最大の焦点になってましてね、もしかしたらその林市長のリコールにつながってくる可能性もありまして、20日間の通常国会では疑惑追及だけではなくカジノの是非についても議論されると思いますので、まあここはちょっと立ち止まって考え直すということも必要だと思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は575秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・桜を見る会：結論→特に問題なし

小川キャスターの「桜を見る会を巡って政府がこれまで廃棄してきたとしてきた5年分の招待者名簿についてガイドラインで義務付けられている廃棄の記録を残していなかった事がわかりました。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"記者「残すべき記録を残していなかったということか、いわばガイドラインに違反しているという認識でしょうか。」

菅官房長官「残すべきものが残されていなかったということは事実かというふうに思います。」

ナレ「公文書管理のルールを定めた政府のガイドラインには行政文書を廃棄するときは廃棄の日になどを記録に残すことを義務付けていますが、菅官房長官は2013年から5年分の招待者名簿について記録が残されていないことを明らかにしました、さらに廃棄記録に明記されていないということは過去の招待者名簿を廃棄したといえないのではと問われると。」

菅官房長官「書類を管理していたのは内閣官房人事課に限られていたと、このように聞いています、そのメンバーに聞いたところ廃棄しているというのであれば、ないことだというふうに思っています。」

ナレ「また、今日の野党のヒアリングでは内閣府が桜を見る会に飲食物を提供していた業者と設営業者に対して入札前に打ち合わせをしていたことがわかりました。この飲食業者の役員は安倍総理の妻昭恵氏の知人でした。」

"

"山井和則（「立国社」会派衆院議員）「2月に入札があるのに、事前にこの昭恵夫人の知人の会社だけ事前に打ち合わせがあったということは極めて不適切ではないかと思えます。」

酒田元洋（内閣府大臣官房総務課長）「打ち合わせをしたわけではありません。あの、前年の気付きの点をお聞きしたというだけのことで、」

山井和則「それを打ち合わせっていうんですよ。」

原口一博（国民民主党、国対委員長）「実質一社入札ですか同じ業者がずっとやっているでしょ。」

酒田元洋「あの、それは結果としてそういうことだったということでございます。」

山井和則「お友達優遇ですよ、結果として不公平になった一社応札になって、結果として競争がなくなって安倍昭恵さんのお知り合いの会社がずっと応札しているんですよ、この結果についてはこれでいいと考えているんですか。」

酒田元洋「結果につきましては適正な企画競争を経た結果であるというふうに思っています。」"

このトピックに当てられた時間は151秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカとイラン：結論→特に問題なし

山本キャスターの「アメリカの空爆で殺害されたイラン革命防衛隊のソレイマニ司令官の遺体がふるさとの地に到着し、葬儀が行われました。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"群衆「アメリカに死を！アメリカに死を！」

ナレ「ソレイマニ司令官の遺体は故郷ケルマンに到着、数百万人が参加して葬儀が行われましたが、国営メディアは人が殺到し32人が死亡したと伝えています、アメリカとイランの対立で緊迫が高まる中国連のグテーレス

事務総長は。」

グテーレス（国連事務総長）「地政学的な緊張は今世紀で最も高いレベルにある。」

ナレ「双方に最大限の自制を求めました。こうした中、アメリカは9日の国連安保理会合への参加を希望していたイランのザリフ外相へのビザ発給を拒否したことがわかりました。」

このトピックに当てられた時間は65秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・自衛隊中東派遣について：結論→特に問題なし

自衛隊中東派遣について以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

河野太郎（防衛相）「現時点で、閣議決定を変更するには至っていない。」

ナレ「アメリカとイランの緊張が高まる中、河野防衛大臣は中東海域への自衛隊派遣について昨年12月の閣議決定に基づき予定通り行う考えを示しました。」

このトピックに当てられた時間は秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・立憲民主党と国民民主党の党首会談：結論→特に問題なし

ナレーションによって「立憲民主党と国民民主党の合流協議が大詰めを迎えています、今夜都内のホテルで枝野、玉木両代表が会談しました。幹事長同席のもと、党名や人事などについて詰めの協議が行われたものと見られます。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は20秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・IR疑惑

スタジオでは小川キャスターが「かなりウェルカムな意見も多い中にはありましたが、ゴリ押しという意見もありました。このIR法案、東京地検に逮捕された秋元容疑者が委員長を務める内閣委員会で採決されたのが2016年の12月なんですね、思い出していただければと思うのですが、こちらはちょうどその月のJNNの世論調査です、カジノを解禁するIR法案に賛成か反対かを問うたものなんですが、賛成という方は24%にとどまりまして、反対は55%と大幅に上回っていた、こうした中での採決の強硬だったわけですね。」とコメントしていたが、そもそもカジノを嗜むことが誰か他人に迷惑をかけることであるのだろうか。

カジノに反対の55%の人間はカジノが解禁されてもカジノに行かなければいいし、カジノに行くような人と結婚しなければいい、カジノのない街で生活すればいい、という話であり、世論調査で55%の人がカジノに反対しているのであれば、そうしたライフスタイルは十分に選択可能である。そのうえで、カジノをやりたい、認めてもいいのではという「人間に対して過半数がカジノに反対なんだからお前も我慢しろ」とでも言わんとばかりの小川キャスターの世論調査の数字の出し方がある種、数の暴力のような恐ろしさを感じた。

ところで、現状ではギャンブルは禁止されながらも、三店方式という怪しげなスキームを採用するパチンコは

お目溢しされている、という状態も問題だろう。ふと気になったのだが、カジノも三店方式を導入すれば合法になるのだろうか。

- ・アメリカとイラン

VTR 中で国連のグテーレス事務総長が「地政学的な緊張は今世紀で最も高いレベルにある。」とコメントしていたが、「地政学」とは聞き慣れない言葉だな、と感じた。「地政学」とはいかなる「学」なのであろうか、非常に気になるところである。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月8日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 井上久男（ジャーナリスト、ゴーン氏を長年取材してきた）</p>		
<p>検証テーマ：アメリカとイラン、日本維新の会が下地議員を除名、日米貿易協定</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカとイラン ・ゴーン被告の記者会見 ・相模原殺傷事件の公判で被告が暴れ審理が中断 ・國母被告の大麻について新証言 ・日本維新の会が下地議員を除名 ・成田空港で濃霧のため着陸地変更が相次ぐ ・イランで旅客機が墜落 ・品川区で肺がん疑いを8人ほど見落としか ・日米貿易協定 ・スポーツ報道 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカとイラン <p>スタジオでの小川キャスターの「まずは緊張が高まるアメリカとイランについてお伝えいたします。今朝、イランがアメリカ軍の基地に少なくとも15発の弾道ミサイルを発射しました。今後大規模な軍事衝突に発展する恐れが出ていますけれども、アメリカはこれにどう出るのでしょうか、トランプ大統領がまもなく声明を発表です。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「日本時間午前7時半、イランの軍事作戦が始まりました。作戦名は殉教者ソレイマニ。イラン国内から発射された弾道ミサイルがイラクにある2つのアメリカ軍基地を攻撃したのです。これは、イラクのアイン・アル・アサド空軍基地にミサイルが着弾したときの映像とされています。こちらはもう一方の攻撃目標、アルビル郊外の着弾地点です。地面には穴が空き、ミサイルの破片と見られるものをクルド自治区の治安部隊が回収しています。」</p> <p>インタビュアー「今朝、あなたの家の近くで何があったんですか？」</p> <p>バルザン・ファーラーさん（NPO法人ジムネット、イラク事務局）「アルビル空港とアメリカ軍基地の近くだったので、とても大きな爆発音がして恐ろしかったです、そして一発のミサイルが私の村の近くに落ちたのです。」</p> <p>ナレ「アルビルで活動する日本のNPO、ジムネットのスタッフ、バルザンさんは着弾地点からわずか3キロの場所にいました。」</p> <p>インタビュアー「音を聞いたときは？」</p> <p>バルザンさん「怖くて心配で緊張しました。私たちイラク人あ h これ以上の戦争は臨みません。平和に暮らした</p>		

い。」 "

"ナレ「この攻撃によるアメリカ軍側の被害の詳細は明らかになっていませんが、これまでのところ人的被害破格にされていません、しかしイランの国営テレビは。」

イラン国営テレビ「アインアルアサド基地の重要定点へのミサイル攻撃で、テロリストである米兵少なくとも 80 人が死亡した。」

ナレ「アメリカ側に大きな被害がでているとアピールしています、イランの最高指導者、ハメネイ師もテレビ演説を行い、アメリカ軍基地への攻撃についてこう表現しました。」

ハメネイ師（イラン最高指導者）「アメリカの顔を平手打ちしたのだ。」

群衆「アメリカに死を！アメリカに死を！」

ナレ「ただ、イランのザリフ外相は Twitter で、『イランは相応の自衛措置を行い完了した。我々は事態拡大や戦争を望んでいない』と抑制的なメッセージを発信しています。海上自衛隊で司令官を務めた香田洋二さんは今回のイランによるミサイル攻撃をリスクの大きい大胆な行動だと言います。」 "

"香田洋二（元自衛艦隊司令官）「今回はイランという国を特定をして、しかも米軍基地という相手も特定して弾道弾を打ち込んだ、ということですから一番リスクの多いことを最初にやってしまったということである意味驚き、イランのその自信というのがどこにあるのか、この先見る必要があると思います。」

ナレ「イランによるアメリカ軍による軍事攻撃にまで発展した今回の事態、直接のきっかけはアメリカ軍によるイラン革命防衛隊のソレイマニ司令官の殺害です。イランの国外作戦を指揮し、中東での影響力拡大に貢献したソレイマニ司令官は国内では英雄とされていました。ソレイマニ司令官殺害を受けて、最高指導者のハメネイ師はアメリカへの報復を明言していたのです。イランの攻撃を受け、日本政府にも緊張が走りました。」 "

"記者「総理、イランによる米国への攻撃が報じられていますが受け止めをお願いします。」

安倍総理「このあと、直ちに報告を受けます。」

ナレ「政府は緊急に国家安全保障会議を開催、安倍総理は情報収集分析や現地にいる日本人の保護に全力を上げることなどを指示しました。緊張の高まりを受け大きく反応したのが株価です、日経平均株価は一時、600 円以上値を下げました。」

豊田和真（報告）「イランのミサイル攻撃を受け、一時、600 円以上暴落した日本の株価、その後やや回復しましたが市場には不安が広がっています。」

ナレ「一方、原油価格は大きく上昇、ガソリン価格の値上がりも懸念されます。客からは不安の声が。」

ガソリンスタンド利用客「今日朝、戦争が始まりそうだからちょっと心配になって多めに入れることにしました。」

ナレ「今後、政府の対応として注目されるのが安倍総理の中東訪問と、海上自衛隊の中東派遣です。中東訪問は 3 日後の 11 日に迫っていますが、政府内に延期すべきという意見も出ています、自衛隊派遣については方針に変更はないとしています。」

菅官房長官「現時点において、その方針に変更はなく、現地の情勢を見極めつつ、準備に万全を期していきたい。」

ナレ「一方、野党は中東派遣の中止を製粉もとめることで一致をしました。海上自衛隊の幹部からはこんな声も聞かれました。」

海上自衛隊幹部「もし政府が隊員の命が大事だとおもうなら、情勢次第では派遣の見直しをする必要もあると思

います。」

ナレ「イランの攻撃を受け、果たしてアメリカはどう出るのでしょうか。」

トランプ大統領 (Twitter) 「全て順調だ。我々は世界で最も強く、十分な装備を持っている。明日の朝、声明を発表する。」 "

ナレ「まもなく発表される声明でトランプ大統領は何を語るのか、現地ワシントンから最新情報を音歌えします。」

テロップ「トランプ氏、次の一手は？」

VTR を受けて以下に朱記したようなやり取りがスタジオと中継の間で繰り返された。

"小川彩佳「トランプ大統領がまもなく声明を発表するということですがけれども今の状況をワシントン支局から中継で伝えてもらいます、岩田さんお願いします。」

岩田夏弥 (ワシントン支局長) 「はい、こちらは現在朝の 9 時 8 分です、ホワイトハウスからは報道陣に対して今朝は 9 時に集まるようにという連絡がありましたので、このあといつ声明の発表があってもおかしくない状況です。トランプ大統領はこれまでアメリカ人やアメリカの資産に攻撃があれば、非常に早く激しく反撃すると警告してきました。そんな中での攻撃だったわけですが、イランの国営テレビがアメリカ側に大きな被害が出ていると伝えたのに対して、トランプ氏は Twitter で被害者は出ていないという認識を示した上で、我々は世界で最も強力な軍隊を持っていると武力行使の可能性をちらつかせています、このツイートにはですね、普段よりもかなり多いおひよそ 60 万人が賛成や応援を意味するハートのマークをクリックをしているんですけれども本当に反撃に踏み切れば中東でアメリカ人を含めた多くの犠牲者が出るリスクが一気に高まります、アメリカファーストを掲げてきたトランプ氏ですが、最強の軍隊を持つ国のリーダーだからこそ外交を通じて戦争という最悪の事態を避ける責任があるはずですよ。日米の外交筋はトランプ大統領の発言を待つしかないと話してしまっていて、トランプ氏が何を語るのか、まさに世界の関心が集中している状況です。」

小川彩佳「まもなく声明が発表される予定です、入り次第速報でお伝えします。」 "

また番組のクロージングではスタジオで以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「さて、アメリカのホワイトハウスは先程イラン情勢をめぐるトランプ大統領の声明の発表を、日本時間の午前 1 時、一時間後ですね、午前 1 時から行うと発表しました。トランプ大統領自身がカメラの前で会見するということです、このあと行われるということですがけれども、」

星浩「そうですね、トランプ大統領も起きてから 2, 3 時間経ってますから、相当その準備をしているんだと思います、選択肢はいくつかあると思いますが、そのクルーズミサイルで攻撃すると本格的な反撃、攻撃をするかどうか、それから攻撃の構えを見せながらも金融制裁などを続けていくというようなことなんでしょうけれども、いずれにしても、トランプ大統領、就任してまる三年ですがけれども、おそらく最も重大な選択を迫られる局面になってきていると思います。」

小川彩佳「イランのザリフ外相は Twitter で我々は事態拡大や戦争を望んでいない、という抑制的なメッセージを送っていますから、これに対してどう反応するか、一つの分水嶺となりそうですね。」 "

このトピックに当てられた時間は 626 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・日本維新の会が下地議員を除名：結論→特に問題なし

NEWS23 週刊報告 詳細版

ナレーションによって「IR 汚職事件で逮捕された中国企業側から現金 100 万円を受け取っていた下地衆院議員について日本維新の会は除名処分にしたと発表しました。下地議員が昨日提出した離党届は受理しませんでした、維新の会は議員辞職も勧告する予定で、下地議員は議員辞職について通常国会が始まる今月 20 日までに判断するとしています。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 30 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・日米貿易協定：結論→特に問題なし

ナレーションで「今日から大手スーパーで始まったのはアメリカ産牛肉のセール。1 日に日本とアメリカの貿易協定が発行し、関税が引き下げられたことに伴うものです。店頭では最大 2 割値下げされるなど、今後値下げの動きが広がっていきそうです。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 21 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

- ・番組構成について

今日は珍しく桜を見る会の問題が取り上げられていなかった。おそらくゴーン氏の会見というビッグニュースがあったからではなかろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月9日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：アメリカとイラン、桜を見る会、悠仁さまの机に包丁が置かれた事件の初公判		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカとイラン ・ゴーンの会見 ・桜を見る会 ・労働組合の積立金を着服した女を逮捕 ・中国で謎の肺炎 ・イギリスのヘンリー王子が王室離脱を表明 ・悠仁さまの机に包丁が置かれた事件の初公判 ・三島由紀夫 VS 東大全共闘が映画化 ・スポーツ報道 ・【異論反論】ゴーン会見 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカとイラン：結論→特に問題なし <p>小川キャスターが「まずはじめにお伝えするのがこちらです、日本時間の今日未明のホワイトハウス、政権幹部がこうして居並ぶその後ろの扉がゆっくりと開きますと、光の中からトランプ大統領が登場しました。これ、戦争に発展するのではという不安も広がっていました。世界中が注目していたこの演説でしたが、どうやら振り上げた拳は降ろされたようです、この決断の背景にあったのは何だったのでしょうか。」と述べた後に以下に朱記したようなVTRがCMをはさみつつ取り上げられていた。</p> <p>トランプ大統領「イランの暴挙に対し、どのような対応をするか選択肢を検討した。我々のミサイルは巨大で強力かつ正確で破壊力も高くスピードも速い。」</p> <p>ナレ「イランによるアメリカ軍基地への攻撃に対し、報復としてトランプ大統領が一体どんな行動を取るのか注目された記者会見。報復の連鎖の緊張感も流れる中、下した決断は。」</p> <p>[CM]</p> <p>"ナレ「今月3日、アメリカ軍がイランの国民的英雄、ソレイマニ司令官を殺害したことから一気に高まったアメリカとイランの緊張。」</p> <p>イランの群衆「アメリカに死を！アメリカに死を！」</p> <p>ナレ「イランは米に対する報復を予告します。それに対し、トランプ大統領は。」</p> <p>トランプ大統領（Twitter）「イランが攻撃すればイランにとって非常に重要な52の施設の標的を速やかに激しく攻撃する。」</p> <p>ナレ「イランが報復攻撃に踏み切れば応戦する姿勢を強調しました。ところが。イランはトランプ大統領の威嚇</p>		

を尻目にアメリカ軍の基地や周辺に 10 数発以上のミサイルを打ち込んだのです、イラン国営テレビはこの攻撃で 80 人のアメリカ兵を殺害したなどと報じました。この攻撃に対しトランプ大統領がどんな報復を決断するのか、世界中が固唾を飲んで見守ったのがきょう、未明の会見です。」

トランプ大統領「我々は素晴らしい軍事力や武器を持っているが使おうとしているわけではない。使いたくはない。」

ナレ「注目されたイランへの報復の中身は経済制裁、武力行使への言及はありませんでした、そしてイラン側がアメリカ兵 80 人を殺害、などと発表したことについては。」

トランプ大統領「昨夜のイラン政権による攻撃で一人のアメリカ人も負傷しなかった、死者は一人もなく、兵士全員が無事です。」

ナレ「さらに、イランの国民や指導者に対し、こんなメッセージを投げかけました。」

トランプ大統領「我々排卵が平和と反映を享受できるような取引をしなければいけない。」

ナレ「イランからの攻撃に対する激しい報復を予告していたにもかかわらず、一転、報復を思いとどまった決断の背景には一体何が合ったのでしょうか。トランプ政権に独自のパイプを持つ専門家は。」 "

"小谷哲男（明海大学准教授）「今回、あの、イランが使った短距離の弾道ミサイルはかなり正確に狙ったところを攻撃したというふうに評価できると思います。」

ナレ「イランが狙ったところはどんなところだったのでしょうか。」

小谷哲男「アメリカはそのテントだとか滑走路などが攻撃されたと言っていますが、撃ったところには普通は人がいないところであったということで、そこにアメリカはイランの事態の拡大を望まないというメッセージを読み取ったということが言えると思います。トランプ政権としての評価はアメリカの兵士を奪わない形で攻撃をしてきた、と。」

ナレ「トランプ政権はイランがあえてアメリカ側の被害を抑える攻撃を行った、と分析したため報復攻撃をやめたというのです、一方のイラン側はどうなのか、トランプ大統領は楽観的な味方を強調しました。」

トランプ大統領「イランは警戒態勢を解いたようだ。これはすべての関係者、そして世界全体にとって喜ばしい。」

ナレ「果たして。トランプ大統領の思惑通りこのまま緊張関係は収束していくのでしょうか。」 "

"ナレ「東京都内にあるペルシャ料理の店で腕を振るうのはイラン出身のハミッドさん。常連客との会話はやはり祖国イランのこと。」

ハミッドさん（イラン出身）「(アメリカが) あまり激しいことを決めることにならなくてよかった、それが一番幸せです、人を殺すことはすごく渡し心配して。」

ナレ「ただ、両親や親族が暮らすイランのことは心配が付きません。」

ハミッドさん「前世南進ならない、全然イランと関係ないのに、全部イランのせいにしてるとか、証拠がないのに全部イランの感じ、また次は何を考えているかって、すごい心配しているんですよ。」

ナレ「毎日のようにビデオ通話で両親たちと会話をするというハミッドさん。」

ハミッドさん「イランの皆の状況はどうですか？」

ハサンさん（ハミッドさんの父）「こちらは心配しないで、全て安全です。アメリカが経済制裁を解除したら国民は大変な状況から楽になれます」

ナレ「アメリカによる経済制裁で日本から両親へお金を送ることも出来ません。」

ハミッドさん「非常に辛い、お父さんも病気だし、薬は高いお金を払わなければならないところで、私たちだけでなく皆そういうふうに非常に苦しんでいるので。」

ナレ「一触即発の危機は避けられたとはいえ、まだまだ予断を許さないアメリカとイランの関係、日本はそれぞれの国にどう働きかけができるのでしょうか。」

安倍総理「日本はすべての当事者に対して自制的な対応を強く求めてきました。自制的な対応を評価するというのが日本の立場であります。」

"ナレ「野党からはこんな批判も。」

原口一博（国民民主党国対委員長）「イランとアメリカの仲介役を任ずる首相がですね、なんと声明を出したのが6日と。自体が起きて3日もたってからですか。仲介の任を果たしているとは思えないですね。」

"ナレ「在日イラン人のハミッドさんは日本政府への期待をこう語りました。」

ハミッドさん「本当に安倍さん、いつも感謝しているんだけど、アメリカとイランの間に入っていること、もうちょっとなんか諦めないで、私たちのために少くく安倍さんまた、いい方法考えたらありがたいと思っています。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「その安倍総理、まあかねてからトランプ大統領との親密さをアピールしてきましたけれども、この年末年始のイランを巡る情勢が非常に緊迫度が高まっていた、そのさなかを振り返りますと中東情勢に関する表だったコメントを発表するでもなく、どこか蚊帳の外にあるのかなという印象すら受けたのですが。」

星浩「あの、軍事作戦についてね、アメリカがホワイトハウスで協議中の時になかなか日本がその中に入るとかアメリカから通報を受けるという余地はなかなかないんですけども、今回今度その戦争が回避されて外交の局面に入ったわけですからイランとアメリカの双方にパイプのある日本の出番ということはあると思いますね。まああの、イランから本音を引き出してアメリカに伝える、仲介をするということなんですけれども、この問題の根っこにあるのがイランの核合意をアメリカが一方的に離脱したことなんです、だからやっぱり安倍さんは本当に仲介する気があるのであればアメリカにその核合意にもう一回戻るべきだとトランプさんに迫るということが必要だと思いますね。」

小川彩佳「これからその手腕が問われていく、と。」

このトピックに当てられた時間は584秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・桜を見る会：結論→やや問題あり

小川キャスターの「次です、桜を見る会です。去年に引き続きまして野党はこの問題を追求していますが、今日また新たな問題が浮上しました。それは安倍総理の夫人、昭恵氏の知人をめぐる問題です。」というコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"原口一博（国民民主党国対委員長）「安倍昭恵さんのお友達のお会社ですよ。」

酒田元洋（内閣府大臣官房総務課長）「あの、その3年間につきましてはジェーシー・コムサさん、同じ会社が3年間ずっと出てきていただいてお話を聞かせていただいた。」

ナレ「内閣府が桜を見る会に飲食物を提供していた業者や設営業者と入札公示の1ヶ月以上前に打ち合わせをしていた問題、総理の地元の山口県の日本酒に焼き鳥、この飲食物を提供していた会社というのが、」

"安倍昭恵 (Facebook) 「友人たちと楽しく美味しい夕食を楽しみました。」

今井雅人 (「立国社」会派衆院議員) 「この会社の役員は安倍昭恵さんととても中が良くてですね、まあこうやって Facebook にも総理と一緒に写真撮ってるのをいっぱい載せていらっしやる方なんです。」

安倍昭恵夫人 「これからも主人を私はあの支えてきたいと思いますので。」

ナレ 「安倍昭恵氏の知人が役員を務めるこの会社、以前も桜を見る会に一部の食品を提供していましたが第二次安倍内閣が初めて開催した 2013 年から 7 年連続で酒を含む全ての飲食物を単独で受注していました。桜を見る会の予算額は毎年およそ 1700 万円、ただ、飲食物の受注額は出席者の数の増加に伴い、この 6 年間でおよそ 1.6 倍の 2200 万円に膨らんでいます。」 "

"山井和則 (「立国社」会派衆院議員) 「安倍昭恵夫人の大学時代からの友人の会社が焼き鳥とかを無料で振る舞われるということであれば、お友達を呼んできて、お友達の会社が無料で接待するっていうね、お友達だけじゃないかと思うんですけども、そこは不公正だと思われませんか。」

酒田元洋 「企画競争ということで、きちんと総審査をしてそれで事業者様を決定している、と。」 "

ナレ 「企画競争入札とは受注額のやすさで決める一般競争入札とは異なり、決められた予算内で最も優れた内容の業者と契約する方法です。ただ、内閣府の資料を見ると、2015 年と 2017 年に他の一社が応募した以外は、この会社だけしか応募していません、入札は適切に行われたのでしょうか。」

"今井雅人 「その選ばれた理由についてとか、そういうものの文書とかいうものは残っていないのでしょうか。」
大塚拓 「もう片方の落選した業者がおりますので、そこがそもそも応募した事実も含めてですけれども公表していない。」 "

"ナレ 「入札制度に詳しい専門家は。」

鈴木満 (入札制度に詳しい桐蔭横浜大学法科大学院客員教授) 「国民の税金というものがどう使われるかということは公開が原則ですからね、競争に負けた方も買った方もどういうことでこの業者が落札したかということの手続きの過程というのは全部見えるかしないといけないわけです。」

ナレ 「内閣府は今日、入札前の打ち合わせは 2017 年から 3 年連続で行われていたことを明らかにしました。」 "

"山井和則 「2017 年 18 年 19 年、3 年間は事前の面談なり打ち合わせをしたということですね。今年の桜を見る会の日程は何日ですという話はされているでしょ。」

酒田元洋 「過去の例としてこれくらいの時期にはやってきていますよというお話はしたようです。」

山井和則 「いや、そこじゃないですか。入札に関して非常に重要な情報じゃないんですか、事前の打ち合わせそのものじゃないですか。」 "

"ナレ 「事前の打ち合わせに問題はないのか、専門家は公的機関の入札は特に公正さが求められると指摘します。」

鈴木満 「他の入札参加者と同等の条件で入札に参加すれば何の問題もないけれど、その業者と発注機関が事前に情報交換してた、それがその総理の関係者と深い関係にある業者だったという、二重の意味で公正さを残っているんじゃないか。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳 「越年したこの桜を見る会をめぐる問題ですけれども野党からだけでなく、与党の公明党のトップ山口代表からも昨日こんな厳しい発言が飛びました。これだけ国民が納得していない、自民党、安倍さん、政府が説明する努力をすべき、と、こうした発言が山口代表からもありましたね。」

星浩「そうですね、安倍総理の周辺は年が明ければね、桜の問題は沈静化するんじゃないかと期待していたんですけれども野党もメディアも追及してますし、まあ与党からもこういう批判が出ていまして 20 日からの国会ではかなりの論点になっていますよね。」

小川彩佳「そうですね、年が明けてもまた新たな問題が浮上ってきているというのはこちらなんですけれども VTR でもご紹介したこちらグラフなんですけど全体の予算、桜を見る会のですね 1700 万円ほどなんですけれどもこれにもかかわらずここ数年は飲食の提供に関わった費用だけでこれ全体の予算をオーバーしている、という。」

星浩「そうなんですよね、この全体の予算というのは会場費とか警備のお金を含んでいるんですけれども、これ飲食費だけでどんどん突破して行って、そういう業者が選ばれているということ事態が非常に不透明なんです、やはりこれ安倍さん、昭恵さんに絡む話ですので総理自身がきちんと説明してもらわない限りですねこの疑惑は晴れてこないということだと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 401 秒だった。

このトピックについては連日、枠に厚みをもたせて取り上げられているが、その反面、他の政治課題・政策課題をめぐる政治の動きについての取り上げ方が手薄となっているのは否めない。

他のトピックの取り上げ方を含めてのこうした報道姿勢は放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」に照らして問題のある姿勢ではないだろうか。

・悠仁さまの机に包丁が置かれた事件の初公判：結論→特に問題なし

ナレーションによって「お茶の水女子大学の附属中学校で秋篠宮家の長男、悠仁さまの机に包丁が置かれた事件で初公判が行われ長谷川薫被告は起訴内容を認め、暴挙だったと話しました。検察側が懲役 1 年 6 ヶ月を求刑し即日結審しました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 23 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・桜を見る会：結論→印象操作のおそれあり

連日、桜を見る会の問題に厚みをもたせた報道をすることによって、他の政治課題や政治の動きの印象を薄めることになるだけでなく、「野党は桜を見る会ばかり取り上げている」というイメージを実態以上に助長する恐れがあるのではないだろうか。

検証者所感

・桜を見る会

スタジオで小川キャスターの「越年したこの桜を見る会をめぐる問題ですけれども野党からだけでなく、与党の公明党のトップ山口代表からも昨日こんな厳しい発言が飛びました。これだけ国民が納得していない、自民党、安倍さん、政府が説明する努力をすべき、と、こうした発言が山口代表からもありましたね。」というコメントに星キャスターが「そうですね、安倍総理の周辺は年が明ければね、桜の問題は沈静化するんじゃないかと期待

NEWS23 週刊報告 詳細版

していたんですけれども野党もメディアも追及してますし、まあ与党からもこういう批判が出ていまして 20 日からの国会ではかなりの論点になっていますよね。」と応えていた。メディアも追及しています、という星キャスターはいうが、その急先鋒こそ連日大きな枠をとって桜を見る会の問題を取り上げてきた NEWS23 という報道番組ではないだろうか。その報道番組のキャスターが「メディアも追及してます」というコメントはいささか白々しくないだろうか。

また、公明党の山口代表の「これだけ国民が納得していない、自民党、安倍さん、政府が説明する努力をすべき」という発言をそれなりに好意的に捉えていたが、この「政府」には連立を組んでいる公明党が含まれているはずだ、ということスタジオの人たちは意識していたのだろうか。

NEWS23 は桜を見る会を連日熱心に取り上げているが、内閣府にとって桜を見る会というのはどういう位置づけなのだろうか。毎年恒例の面倒な行事、と受け取られているのではないだろうか。また、この担当についてもローテーションはどうなっているのか気になるところである。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月10日
<p>出演者：小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕</p> <p>※今週から毎週金曜は星キャスターがおやすみ</p> <p>ゲストコメンテーター：斎藤幸平（経済思想家、大阪市立大学准教授）</p>		
<p>検証テーマ：旅客機墜落イランが撃墜か、自衛隊派遣</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅客機墜落イランが撃墜か ・自衛隊派遣 ・【金曜第三惑星】気候変動大分岐 ・ゴーン被告出国の経緯語らず ・ゴーン被告の妻の国際手配を要請 ・スポーツ報道 ・兵庫県の福男選び ・ロンドンブーツの田村亮さんが活動再開 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅客機墜落イランが撃墜か：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「アメリカとイランによる攻撃の応酬が続くさなか、墜落していた旅客機、イランが撃墜した可能性が出てきました。」というコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。</p> <p>"ナレ「8日、イランの首都、テヘラン近郊の上空。落下していく発光体は旅客機と見られます、そして。旅客機は墜落、現場付近に設置されたカメラには閃光が広がったあと、炎に包まれ残骸が降り注ぐ様子が記録されていました。墜落したのはウクライナ国際航空のボーイング機、乗っていたのはイラン人やカナダ人など176人。全員が死亡しました。」</p> <p>現場付近にいた人「とてつもなく大きな音がして家が大きく揺れたんです、外に出てみると飛行機の残骸と人々が無残な姿で横たわっていました。」</p> <p>ナレ「この墜落が起きたのは、ソレイマニ司令官殺害の報復としてイランがイラクにあるアメリカ軍基地にミサイル攻撃をしたわずか4時間後。イラン国営テレビはいち早く技術的なトラブルが原因との見立てを発表していました。しかし事態はここに来て新たな局面を迎えました。」</p> <p>"トランプ大統領「誰かが間違いを犯したかもしれない。機体の問題だという人もいるが個人的にはそうは思わない。」</p> <p>ナレ「トランプ大統領は9日、イランが誤って撃墜した可能性がある、と示唆したのです。多くの犠牲者を出したカナダのトルドー首相も。」</p> <p>トルドー首相「旅客機はイランの地对空ミサイルに撃墜されたことを証拠が示している。」</p> <p>ナレ「撃墜の瞬間を捉えたと見られる映像も残されていました。映像が示すものとは。」"</p>		

テロップ「撃墜瞬間の映像を分析」

ナレ「アメリカとイランの軍事的緊張が高まるさなかにおきた旅客機の墜落事故。原因はイランによる誤射の可能性が浮上してきました。ニューヨーク・タイムズ紙が報じたこの映像。一瞬大きくなった光がイランのミサイルが命中した瞬間と見られるとしています。アメリカ CBS は情報当局からはなしとしてアメリカの衛星が2つの地対空ミサイルの発射を感知した直後に旅客機が爆発した、と伝えました。軍事アナリストの小泉氏もイランが誤って撃墜した可能性が高いと指摘します。」

"小泉悠（東京大学先端科学技術センター特任助教）「ここですよ、光るものが上昇して行って爆発する。」

ナレ「小泉氏が注目したのは画面左側から上昇してくる光。」

小泉悠「これおそらく地対空ミサイルロケットエンジンの炎が映っているんだと思うんですね、それが上空でパーと光っていますから、これがおそらく命中した瞬間、まあこれはイランの首都の真ん前なわけですね、ここに地対空ミサイルを持ち込める勢力というのは一般的に考えるとイラン軍自身であるとか革命防衛隊であるとか、イランの軍事組織であると考えるのが妥当ですよ。」

ナレ「イランは旅客機墜落のおよそ4時間前にアメリカ軍の基地をミサイルで攻撃、アメリカからの報復攻撃を警戒する中でイランは旅客機をアメリカ側の軍用機と誤認した可能性がある」と小泉氏は指摘します。」

小泉悠「軍事的な緊張状況下で軍隊が全く関係ない民間機を撃ち落としてしまうというのはこれまでも何回かある。アメリカもロシアもやっているんですね、ですから同じようなことがイラン軍にも起きたと考えてもこれはおかしくないです。」

"ナレ「一方、イラン側は撃墜したことを否定、」

イラン航空当局「自信を持って言えるのは決して飛行機にミサイルはあたっていないことです。」

ナレ「イランは調査委員会を立ち上げ関係国の専門家を立ち合わせてブラックボックスなどの調査を行うと発表しています。」

このトピックについては310秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・自衛隊派遣：結論→特に問題なし

小川キャスターの「全面戦争の回避も先の見えない状況が続くこの中東情勢ですが、日本政府が大きな決断を下しました。」というコメントに対して山本キャスターが「あす、海上自衛隊の哨戒機2機が中東の海域へ派遣されることになったんです、今、あえて派遣に踏み切ったのはなぜなのでしょう。」と応えた後に、以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。

"河野太郎防衛相「今まさに、中東地域における日本関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動の実施を命じたところであります。」

ナレ「ついに海上自衛隊の中東派遣命令がくだされました。今日、那覇基地で撮影された海上自衛隊のP3C哨戒機、明日2機が現地に向け出発します。来月2日には護衛艦たかなみが横須賀から出向、ホルムズ海峡など緊張が高まっている場所を避け、オマーン湾やアラビア海の北部などで活動します。きっかけは去年7月のこの人の発言でした。」

"トランプ大統領「我々はなぜ、裕福な中国や日本のために警備活動をしてやっているんだ。」

ナレ「中東のホルムズ海峡で日本の会社が運行するタンカーが攻撃されました。これを受け、アメリカはホルム

ズ海峡を通る船の安全確保に日本も参加することを要求したのです。しかし、」

安倍総理（先月 9 日）「米国と同盟関係があり、そして同時にイランと長年良好な関係を維持してきた日本ならではの舵取りが今求められています。」

ナレ「アメリカとイランとの間で板挟みになった日本、結果、アメリカの構想に加わらない形での単独派遣になりました。」 "

"河野太郎「中東の緊張が高まっているという状況にはあると思います。だからこそ、この日本関係船舶の航行の安全に必要な情報収集活動をしっかりと強化をしていかなければならないというふうに思っております。」

ナレ「原油の 9 割近くを中東に頼る日本、河野防衛大臣は航行の安全は日本経済の生命線だとして、派遣の重要性を強調しました。しかし、去年の末、派遣を閣議決定した頃と比べ、中東情勢の緊張の度合いはましています。それでも自衛隊を派遣するのはなぜなのでしょう。元防衛官僚の柳沢氏は。」 "

"柳澤協二（元防衛官僚）「アメリカから散々、その再三に渡って養成されてきて自衛隊を出さないといけないという雰囲気があるんですね。」

ナレ「柳沢氏は日本には自衛隊の派遣以外にやるべきことがあると指摘します。」

柳澤協二「仲介ですから、そのイランに物を言うだけでなく、アメリカにも物を言わないと信用されないんですね、アメリカに対する一種の形作りの意味で自衛隊を出すということのようなことはかえってマイナスにもなるし、それは自衛隊にとっても大きな迷惑、軍事的な対応というよりはむしろそのアメリカにもものを言えるような仲介外交が必要。」 "

ナレ「安倍総理は明日からサウジアラビアなど中東の参加国を訪問することが決まりました。その本当の手腕が問われています。」

このトピックについて当てられた時間は 241 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特に問題なし

検証者所感

・ゲストコメンテーター

ゲストコメンテーターの斎藤幸平氏について「経済思想家」と紹介されていた。確かに「経済思想家」という紹介は間違いではないのだが、一言に経済思想といってもその領域は非常に豊かで幅広い。例えばアダム・スミス、リカード、マルクス、マーシャル、ケインズ、ハイエク、フリードマンなど様々な経済理論・経済思想があり、その意味内容は全く異なっている。「経済思想家」という場合に重要なのは数ある経済思想の中でもどいった思想に立脚しているのか、どのあたりの思想を専門としているのかでその論調は大きく変わってくるだろう。そして、ゲストコメンテーターが一人であれば、スタジオでの議論は往々にしてゲストコメンテーターの論調を肯定的に報じる傾向になるので、ゲストコメンテーターがどういう思想に立脚しているかなどを予め伝えて置かなければ、そうしたゲストコメンテーターの議論をその分野の一般的な議論と視聴者が勘違いしてしまうのではないだろうか。

ちなみに、今回のゲストコメンテーターの斎藤幸平氏の勤務先の大阪市立大学のホームページ

によると専門はヘーゲルやマルクスとある。

(<https://www.econ.osaka-cu.ac.jp/ja/staff/kohei-saito/>)

確かにヘーゲル哲学が経済学に与えた影響は少なくはないし、マルクスはマルクス主義という思想やマルクス経済学という分野を切り開いているので、こうした思想を専攻し、また選好する専門家がいてもおかしくはないだろうが、それでもやはりこれを経済学一般というには少々難しい話であり、やはり単に「経済思想家」という紹介は不十分で、もう少し掘り下げた紹介が必要だっただろう。

また、今週から毎週金曜日はゲストコメンテーターを呼ぶとのことであるが、こうしたゲストコメンテーターについてどういう思想の持ち主を呼び、どういう思想の持ち主を呼ばないのか、その分野の分布と比較して妥当なばらつきなのかは検証する必要はあるだろう。